

## ○令和5年度 りしり富士小中一貫教育の具体的な取組内容について

### 1. 鴛泊地区(施設隣接型:鴛泊小学校・鴛泊中学校)

①鴛泊地区のめざす子ども像「ふるさとを愛し 未来を切り拓く 自立した子ども」の設定

②9年間を見通した在り方と教育課程

I期(小1～4):基礎・基本の定着、生活・学習習慣の定着

II期(小5～中1):基礎・基本の徹底、中1への丁寧なつなぎ

III期(中2～中3):応用・探究への進化、「責任」と「運営力」

③小中の垣根を越えた授業体制(乗り入れ授業)の充実

数学教員が小学校に出向き、算数の授業や補助を行う(継続)。

小学校高学年が、中学校へ移動し、英語教員やALTなどから英語授業を受ける。

④日課の調整

乗り入れしやすい環境づくり。英語授業を午後に行なうことを想定し、昼休みに移動時間を確保する。

⑤系統的な「総合的な学習の時間」

小中で交流し、学習内容が被らないよう系統的に設定。修学旅行は、小学校で札幌方面、中学校で関東方面に設定。

⑥行事の交流

運動会の同日開催(午前:小学校、午後:中学校)。小学生は中学生が考えた競技に参加し、中学生は小学校の運営補助を行う。

⑦学習規律や生活のきまりの統一・整理

小学校で身に付けた力を中学校へスムーズに移行する。

⑧小中合同授業研究

一貫した教育課程のもと、合同で授業研究・交流を行なう。

### 2. 鬼脇地区(施設一体型:利尻小学校・鬼脇中学校)

①鬼脇地区のめざす子ども像「確かな学力を身につけ自ら解決できる子 心豊かに思いやりの心で互いに認め合う子 心身を鍛え、困難に打ち克つ粘り強い子」の設定

②9年間の学びをつなぐステージと教科カリキュラム

小1～小4期:学びの基礎をつくる(学習規律、規範意識、生活習慣)

小5～中1期:学びを広げる(思考力、判断力、学習習慣)

中2～中3期:学びを深める(課題追求、実践力、進路設定)

③中学校と小学校の授業体制の充実

乗り入れ授業の充実(算数、音楽、英語)

小中授業交流週間、性教育週間等の設定

日課表の時間差の部分的解消

④児童・生徒の組織、活動

児童生徒会組織・体制の統合

清掃、委員会等の小中縦割り活動

⑤運動会、文化祭、全校集会、挨拶週間等の合同実施

⑥小中各部会(教員)の連携、協働、研修